

令和6年度 事業報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

公益財団法人 大分県交通安全協会

令和6年度事業報告

1 事業の重点

令和6年度は、第11次大分県交通安全計画（令和3年度～令和7年度）の4年目にあたり、同計画に沿って交通事故のない社会をめざし、人命尊重を基本理念として、県民一人ひとりに交通安全知識を普及し、交通安全思想の高揚を図り、交通ルールへの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけることにより、令和7年度までに継続して年間交通事故死者数を34人以下、交通事故重傷者数220人以下を達成するための交通安全活動を推進した。

令和6年度は、活動の重点を基に、現在の社会情勢や活動の継続性を勘案し

- ① 子供の交通事故防止
- ② 高齢者の交通事故防止
- ③ 交通安全のすそを広げる県民運動の推進

の3点を重点活動に掲げ、交通事故のない、安全で安心して暮らせる「優しいマナーと思いやりの運転県おおいた」の実現を目指し事業を推進した。

2 重点活動に対する施策

(1) 子供の交通事故防止

ア 幼児に対する交通安全教育

幼稚園・保育園に交通指導員を派遣し、腹話術の他、体験・参加型の交通安全教室（自転車教室を含む）を492回、22,690人に対して実施した。

イ 児童等に対する交通安全教育

新入学児童を対象とした登下校時の交通安全指導、及び小・中学校や地区公民館に交通指導員を派遣し、体験・参加型の交通安全教室（自転車教室を含む）を延べ463回、25,745人（うち県委託13回、2,664人）に対して実施した。

（小学生412回、21,089人、中学生26回、1,978人（うち県委託7回、1,149人）、高校生25回、2,678人（うち県委託6回、1,515人））

ウ 自転車シミュレータを活用した交通安全教育

学校や地域の行事等に交通指導員を派遣し、自転車シミュレータを活用した体験型の交通安全教室を41回、3,516人（うち県委託13回、2,664人）に対して実施した。

エ 交通安全こども自転車大分県大会の開催及び全国大会への出場

- 7月6日（土）大分東部公民館において、大分県大会を開催し2校2チームが参加した。（優勝チーム：豊後大野市立百枝小学校）
- 7月19日（金）百枝地区教育振興会が主催する全国大会壮行会が百枝小学校で開催され、出場選手4名が練習の成果を披露した。
- 8月7日（水）、東京ビックサイトにおいて開催された「第56回全国大会」に県大会で優勝した百枝小学校が出場した。
（出場校42チーム中29位）

オ 幼児・児童向けの広報紙等の作成・発行

各支部において作成した、幼児・児童向けの広報紙を毎月、又は随時発行した（発行部数7,192部）。

カ 交通安全啓発グッズの配布

新入学児童に対し交通安全グッズ（交通安全さるーる自由帳、さるーるクリアファイル）8,889セット及び各支部独自で選定した物品を配布した。

キ 交通安全レター作戦

日田市内の小学校4～6年生、1,520名に日田支部からハガキを配布し、家族や近親者など身近な人に、交通安全を願う気持ちを書いたハガキを送り、交通安全意識の高揚を図る「交通安全レター作戦」を実施した。（7月中夏休み前に投函）

ク 小学生になる前から道路の渡り方等の交通ルールや交通マナーを身につけてもらえるように、幼稚園や保育園等で活用してもらう交通安全動画のDVDを作成し、県下の幼稚園、保育園等380施設に配布した。

※ 子供の交通事故発生状況（R6年1月～R6年12月）

	件 数	死 者 数	負傷者数	(内) 重傷者
令和6年	132	0	169	14
令和5年	155	0	177	16
増 減	-23	±0	-8	-2

(2) 高齢者の交通事故防止

ア 高齢者交通安全教室の実施

各支部において、高齢者を対象とした体験・参加型の交通安全教室（自転車教室を含む）を75回、891人（うち県委託9回、218人）を対象に実施した。

イ 歩行シミュレータを活用した交通安全教育

運転免許センターにおいて、認知機能検査及び高齢者講習を受講した高齢者等を対象に、歩行シミュレータによる体験型交通安全教育を187回、11,253人に対して実施した。（5月～本年3月）

ウ ドライバーズセミナー（一般コース大分）の開催（後援）

11月17日(日)、大分県自動車学校において、JAF大分支部と連携して高齢者を含めたドライバー対象の体験型講習会を開催し、当協会関係者4名が受講した。

エ 交通安全グラウンドゴルフ大会・ゲートボール大会の開催

交通安全意識の高揚を図るため、各支部において交通安全グラウンドゴルフ大会やゲートボール大会を開催又は協賛した。

○ グラウンドゴルフ大会

・大分中央支部 日岡分会（5／21：80人、10／12：70人）、明野東分会（9／26：40人）

東大分分会（9／29：44人）

・別府支部 北地域分会（7／7：140人）

・豊後大野支部 新田分会（9／22：30人）、白山分会（11／23：75人）、豊後大野支部（1／26：112人）

○ ゲートボール大会

・中津支部耶馬溪連合分会（9／26：35人、10／25：35人）

※ 高齢者の交通事故発生状況（R 6 年 1 月～R 6 年 1 2 月）

	件 数	死 者 数	負傷者数	(内) 重傷者
令和 6 年	8 5 3	1 9	4 3 5	9 2
令和 5 年	9 3 0	1 9	4 8 3	1 1 6
増 減	－ 7 7	± 0	－ 4 8	－ 2 4

(3) 交通安全のすそのを広げる県民運動の推進

令和 6 年度大分県交通安全県民運動実施要綱に掲げる運動の推進事項、「死亡・重傷事故等重大事故の抑止」「高齢者とこどもの交通事故防」「飲酒運転の根絶～飲酒運転を許さない気運の醸成～」等を広く県民に呼びかけるための活動を実施した。

ア 街頭広報

県民の交通安全意識の高揚を図るため、県民交通安全日や春・夏・秋・冬の交通安全運動中に主要交差点等街頭において広報啓発活動を実施。各支部は、県民交通安全日、春・夏・秋・冬の交通安全運動期間中及び交通非常事態宣言発令期間中、主要交差点等の要所に横断幕やのぼり旗を設置して交通事故防止の広報啓発活動を行った。

また、各地域における街頭啓発活動「やまびこ運動」をはじめ、大分南支部による「庄内事故無（梨）梨配り」、杵築日出支部による「ハローキティ街頭キャンペーン」・「さわやか休憩所」、国東支部による「キュウリ（急に止まらないをもじる）配り」、宇佐支部の「横断歩道は歩行者に（柚子）りましょうキャンペーン」、玖珠支部の「R 2 1 0 作戦」・「交通安全茶屋」、竹田支部の「コーン 2 安全運動」、佐伯支部による商業施設での「さるーるクッキー配り」など街頭活動に工夫を凝らしてドライバー等に交通安全を呼びかけた。

イ 広報車による広報

県民交通安全日、春・夏・秋・冬の交通安全運動中、交通非常事態宣言発令中など、各支部広報車による広報啓発活動を適宜実施した。

ウ マスメディア、ホームページ等を活用した広報

(ア) 県協会

新聞、テレビ、ラジオ、ホームページ等を活用し、適宜、時節に応じた広報を実施した。

○ 新聞広報

春・夏・冬の交通安全運動の啓発広告、大分合同新聞「交通標識クイズ」「飲酒運転根絶」を企画した広告に協賛し、交通事故防止啓発広報を実施した。

○ ラジオ広報

- ・ 4月から本年3月まで、毎週金曜日にFM大分「喫茶店Tomocafe」（11:30～11:55）とスポンサー契約し、「大分県交通安全協会の活動篇・6秒の深呼吸篇・彼はスマート篇」の3タイプをCMし、併せて付帯サービスで交通安全協会職員が出演する「交通安全トーク」により、交通事故防止を呼びかける広報を実施した。（4月～本年3月の間、FMラジオ4回職員出演）
- ・ 夏・秋・冬の交通安全運動期間中に、OBSラジオに生出演し、交通事故防止を呼びかけた。

○ ホームページ等

四季の交通安全運動及び交通事故発生状況、各種行事等のお知らせや各支部の活動状況をアピールした。

(イ) 各支部

地域の実情に応じた広報を実施するため、地域新聞（別府支部）、電光表示機（大分中央・玖珠支部）、ケーブルテレビ（別府・国東・日田支部）、商業施設店内放送（大分中央支部）、振興局防災無線・FMラジオ（佐伯支部）をそれぞれ活用。

エ その他県協会の広報活動

(ア) 県協会広報紙「交通安全おおいた」発行

春・夏・秋・冬の交通安全運動前に各11,500部制作・発行し、運動の重点等を広報した。

(イ) 交通安全運動チラシ作成・配布

大分県交通安全推進協議会と共同で、春・夏・秋・冬の交通安全運動用チラシ各35,000枚を作成し、関係機関・団体等に配布して街頭活動等において活用した。

(ウ) 交通安全啓発ポケットティッシュ、反射材等配布

運転免許センターにおいて、認知機能検査を行った高齢者等を対象にした体験型交通安全教育（歩行シミュレータ）の受講者に対して、横断歩道でのマナーアップを呼びかける台紙を入れたポケットティッシュや反射材等を配布し、重ねて歩行中における交通事故防止の意識向上

を図った。

オ 各支部の主なイベント活動

(ア) ひまわりの絆プロジェクトへの参加

杵築日出支部は、4月3日（水）杵築日出警察署において、警察署と協働して交通事故根絶の思いを込めて、4歳で亡くなった男児が育てたひまわりの種をまくことで子ども達に命の大切さを伝えるイベントを行った。

(イ) 温泉祭りへの参加

別府支部は、4月7日（日）女性ドライバー協議会と温泉祭りに参加し、市民や観光客に交通安全を呼びかけた。

(ウ) 交通フェアへの参加

中津支部は、4月7日（日）、7月13日（土）、12月14日（土）商業施設において交通フェアに参加し、模擬信号機や横断マットを使用して交通安全教育指導、自転車シミュレータを展示し体験乗車等を行い、交通安全を呼びかけた。

(エ) 第45回おおいた交通安全フェアへの参加

大分中央、大分東、大分南の3支部は、9月21日（土）大分市府内町の祝祭の広場において、参加体験型の各種展示やイベント・アトラクション等を通じて、市民に対して交通安全の普及・啓発を呼びかけた。

(オ) 交通安全餅つき大会及び餅配り

大分南支部は、12月13日（金）餅つきをして三色餅を手作りし、由布市庄内庁舎前において、竹田支部は、12月11日（水）交通安全餅つき大会を行い、竹田警察署前等において、豊後大野支部は、12月13日（金）餅つきをして道の駅あさじにおいて、それぞれドライバー等に配り、交通安全を呼びかけた。

(カ) 交通安全祈願祭

大分東支部は、4月10日（水）と9月20日（金）、大分南支部は、4月10日（水）、杵築日出支部は、9月30日（月）、宇佐支部は、9月20日（金）、中津支部は、4月5日（金）、佐伯支部は、4月8日（月）にそれぞれ神社で交通祈願祭を行った。

(キ) 交通安全大会

各支部は、交通安全を市民に浸透させ、交通安全意識の高揚と交通事故防止の徹底を図るため、交通安全大会を行った。

カ 交通安全DVD、ビデオの貸出

県協会は、県民や企業に対し、交通安全DVD・ビデオを無償で貸出した。（9箇所15本）

キ 後援・協賛事業

- JA共済による交通安全ポスター募集事業の後援
- OBS大分放送による「OBSハッピーキッズキャンペーン」の後援
- 一般社団法人日本自動車連盟（JAF）による「ドライバーズセミナー・一般コース大分」の後援
- 大分県二輪車普及安全協会による「ベーシック・ライディング・レッスン」の後援
- 大分県二輪車安全運転指導員会による「二輪車安全運転講習会」の後援
- 大分県警察による「県警ふれあいコンサート」の協賛
- 大分県安全運転管理協議会「豊の国セーフティーチャレンジ2024」の協賛
- 大分市による「大分市交通安全フェア」の協賛
- 大分県交通安全推進協議会「大分県交通安全ポスターコンクール」の協賛
- 大分合同新聞社企画「春の全国交通安全運動」・「夏の事故ゼロ運動」・「冬の事故ゼロ運動」・「交通標識クイズ」・「飲酒運転根絶キャンペーン」・「おおいたキャラクター図鑑」の協賛

※ 飲酒による交通事故の発生状況（R6年1月～R6年12月）

	件 数	死 者 数	負傷者数	(内) 重傷者
令和6年	22	1	26	3
令和5年	21	4	25	5
増 減	+1	-3	+1	-2

※ 死亡事故シートベルトの着用状況（R 6 年 1 月～R 6 年 1 2 月）

	全死者	四 輪 乗車中	シートベルト着用の有無					
			着 用		非着用		不 明	
			死者	構成率	死者	構成率	死者	構成率
令和 6 年	2 8	1 7	1 0	58.8%	1	5.9%	6	35.3%
令和 5 年	3 2	1 4	1 0	71.4%	3	21.4%	1	7.1%
増 減	－ 4	＋ 3	± 0		－ 2		＋ 5	

(4) その他の活動

ア 大分県交通安全県民大会における交通安全功労者等表彰

9 月 6 日（金）J:COM ホルトホールにおいて、交通安全活動に従事するボランティアや無事故・無違反を続ける運転者に対し、優良運転者 1 0 年・1 5 年・2 0 年・3 0 年・4 0 年・5 0 年表彰や交通安全功労者等表彰を実施。また、九州管区交通安全協会会長表彰、緑十字銅章表彰を上申し、受賞者に伝達。

※ 交通安全功労者（団体）・優良運転者等

	交通安全功労者	功労団体 優良団体	優良運転者				優良職員等	優良学校 安管等
			20年	30年	40年	50年		
大分県連名表彰	2 0 人	2 団体	3 1 人	5 1 人	6 8 人	4 5 人		0 校
九州管区表彰	3 人	4 団体	3 5 人				3 人	事業所 1 ・安管 1 人
全国表彰（緑十字銅章）	1 1 人		1 0 1 人					安管 1 人

※ 交通安全国民運動中央大会

令和7年1月15日、東京都において交通安全国民運動中央大会が開催され、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席のもと表彰式が行われた。

○ 交通栄誉章緑十字金章2人、緑十字銀章6人、優良事業所1事業所、優良安全運転管理者協議会1協議会が受賞した。

イ 自転車の安全利用の推進

(ア) 自転車利用者に対する安全教育

幼児、小・中・高校、高齢者及び一般者に交通指導員を派遣し、体験・参加型の自転車教室を実施した。

自転車教室は、延べ302回、19,686人を対象に実施。

(幼児0回 0人、小・中・高校生273回 18,729人、高齢者9回 218人、一般20回 739人)

(イ) 自転車保険への加入促進（TSマークの普及等）

自転車シミュレータによる体験型講習の際に、TSマークを含めた保険加入を記載したファイルを受講者に配布するとともに、保険の加入を呼びかけた。

※ 自転車の交通事故発生状況（R6年1月～R6年12月）

	件 数	死 者 数	負傷者数	(内) 重傷者
令和6年	294	1	291	40
令和5年	302	1	294	38
増 減	-8	±0	-3	+2

ウ 二輪車の交通事故防止

(ア) 二輪車安全運転講習会の開催

春・秋の行楽期におけるバイクツーリングによる交通事故及び日常の交通事故防止対策として、大分県警察との共催により、「大分県二輪

車安全運転講習会」を開催した。

○ 大分県運転免許センター <春期>：4月21日(日)実施、受講者30名(男26名、女4名)

○ 大分県運転免許センター <秋期>：9月8日(日)実施、受講者25名(男22名、女3名)

(イ) 大分県二輪車安全運転指導員会が主催する二輪車安全運転講習会の開催(後援)

○ 大分県運転免許センター 6月2日(日)実施、受講者17名(男16名、女1名)

○ 大分県運転免許センター 11月3日(日)実施、受講者17名(男14名、女3名)

(ウ) 日本二輪車普及安全協会が主催するベーシック・ライディング・レッスンの開催(後援)

○ 大分県運転免許センター 6月23日(日)実施、受講者6名(男4名、女2名)

※ 二輪車の交通事故発生状況(R6年1月～R6年12月)

	件 数	死 者 数	負傷者数	(内) 重傷者
令和6年	212	5	184	44
令和5年	213	6	184	61
増 減	-1	-1	±0	-17

エ 交通事故相談

交通安全活動推進センターとして、関係機関と緊密な連携を図りながら、示談や損害賠償等の交通事故に伴う相談・助言対応。

交通事故相談件数は0件。(昨年0件受理)

オ 道路危険箇所等の点検

道路危険箇所及び交通安全施設の点検、道路標識・カーブミラー等の清掃活動、立看板補修設置作業を実施した。

○ 大分中央支部 明野東校区内(4/6～4/15、7/12～7/18、9/21～9/30)

- 大分東支部 佐賀関地区（7／12～7／18）
○ 大分南支部 賀来分会一円（7／15）
挟間分会一円、吉野分会一円（7／14）

以上のとおり、重点活動に対する各種施策を推進した結果、令和6年中の交通事故死者数は、令和5年より4人少ない28人となり、統計資料が現存する昭和27年以降最少を記録し、第11次大分県交通安全計画の「令和7年度までに継続して年間交通事故死者数を34人以下」を連続して抑止することができた。また、交通事故の発生件数、負傷者数についても20年連続で減少傾向が継続している。

この結果を受け、１月２２日、大分県警察本部長はその功労に対し深甚なる感謝の意を表され、公益財団法人大分県交通安全協会をはじめとする関係機関・団体に対して感謝状を贈呈され、また、１月２８日には、交通部長から大分県女性ドライバー協議会等に対しても感謝状が贈呈された。

しかしながら、交通事故死者の70%近くを高齢者が占めるなど、まだまだ取り組むべき課題が残った。

※ 県下の交通事故発生状況（R6年1月～R6年12月）

	件 数	死 者 数	負傷者数	(内)重傷者数
令和6年	2, 1 2 5	2 8	2, 6 1 9	2 1 2
令和5年	2, 2 3 3	3 2	2, 7 6 7	2 6 8
増 減	－ 1 0 8	－ 4	－ 1 4 8	－ 5 6

3 期間を定めての活動

次の期間、集中的・効果的に交通安全活動を推進

運 動 名 等	実 施 期 間	日 数	県内一斉行動日
自転車月間	5月1日(水)から31日(金)まで	31日間	
春の全国交通安全運動	4月6日(土)から15日(日)まで	10日間	4月10日(水)
おおいた夏の事故ゼロ運動	7月12日(金)から18日(木)まで	7日間	7月12日(金)、18日(木)
秋の全国交通安全運動	9月21日(土)から30日(月)まで	10日間	9月30日(月)
飲酒運転根絶キャンペーン (イベント)	12月1日(日)から12月20日(金)まで (12月10日(火) 大分市竹町ドーム広場)	20日間	
おおいた冬の事故ゼロ運動	12月11日(水)から12月17日(火)まで	7日間	12月11日(水)、17日(火)
マナーアップの日	毎月 1日	毎月1日	
県民交通安全日、飲酒運転根絶県民運動の日	毎月20日	毎月1日	

4 行政機関から委託等を受けた事業

- (1) 更新時講習（令和5年度まで委託を受けた、停止処分者、違反者講習は、受けていない）
講習の目的に沿って、講習体制を整備し、適正かつ効果的な講習を実施した。

(2) 運転免許関係事務

更新手続きやマイナ免許証関係の手続きをはじめ県民への利便性に配慮した適正かつ確実な業務を推進した。

(3) 自動車保管場所証明・届出等の電算入力業務

適正かつ確実な業務を推進した。

(4) 道路使用許可調査業務

大分中央警察署管内及び大分東警察署管内における、工事等による道路使用の許可条件の履行及び原状回復の状況等を調査し、交通の安全と円滑に寄与した。

※ 調査員による調査状況

○ 大分中央警察署管内 3, 172件、指導警告事案無し

○ 大分東警察署管内 1, 366件、指導警告事案無し

(5) キャッシュレス決済受付事務（令和6年6月から運転免許センター、8月から各警察署等）

大分県警察が徴収する手数料のキャッシュレス決済受付事務を受託し、適正かつ確実な業務を推進した。

(6) 体験型交通安全教育業務（受託期間：令和6年5月1日から令和7年3月31日までの間）

令和6年度は、自転車シミュレータ、歩行シミュレータ、ドライビングシミュレータの各体験型の合計時間122,400分を目標として委託を受けており、自転車シミュレータが16,870分、歩行シミュレータが75,480分、ドライビングシミュレータが33,910分の合計126,260分（103％）であり、目標を達成した。

ア 子供に対する交通安全教育

県内、中学校及び高校、イベント等において自転車シミュレータを活用した体験型交通安全教育を推進した。

〔受講者 3,516人（中学6校、高校6校、支援学校1校、その他28）〕

イ 高齢者等に対する交通安全教育

運転免許センターにおいて、歩行シミュレータを活用した体験型交通安全教育を推進した。

〔受講者 10,986人（187日間）〕

ウ 一般運転者等に対する交通安全教育

県内、事業所やイベント等において、ドライビングシミュレータを活用した体験型交通安全教育を推進した。

〔受講者 1, 739人(111箇所)〕

(7) 収入証紙の売り捌き（許認可）業務

県民の利便性に配慮した適正かつ確実な業務を推進した。

(8) 日本交通管理技術協会関係業務

ア 自転車安全整備店（非組合店）登録申請等に伴う現地調査・手続き等

整備店作業場としての基準の適合性調査及び各種登録（新規・更新・再登録）手続きを実施した。

（令和6年度：新規0件・更新20件・再登録1件）

イ TSマークの交付業務

令和6年度交付件数（緑色）1, 250件、（赤色）4, 920件、（青色）3, 500件

ウ TSマーク付帯保険の適用に伴う調査

TSマーク貼付自転車の交通事故に係る自転車店への確認調査（令和6年度：0件）

5 大分県自動車学校における事業

(1) 優良運転者の育成

車社会に多くの運転者を送り出している指定自動車教習所の社会的責任・役割を果たすため、安全運転の知識・技能について高い教習を実施し、優良運転者を育成するとともに、初心運転者の事故率の低減を図った。

○ 令和6年度における教習生入校状況 (人)

	四 輪	二 輪	合 計
令和6年度	1, 036	208	1, 244
令和5年度	941	161	1, 102
増 減	+95	+47	+142

(2) 地域交通安全研修センターとしての積極的な活動

ア 高齢者講習

高齢運転者が増加する中、公益法人設立の指定自動車教習所として、講習体制を整備し、適正かつ効果的な講習を実施。

○ 高齢者法定講習

(人)

	実車あり	実車なし	運転技能検査	総 計
令和6年度	5, 9 6 3	2 8 8	1 3 2	6, 3 8 3
令和5年度	5, 5 7 0	2 9 4	1 3 6	6, 0 0 0
増 減	+ 3 9 3	- 6	- 4	+ 3 8 3

- ・ 運転シミュレータ、講習用ビデオ映画、新聞記事さらには身近な事故事例等、常に新しい教材により充実した講習を実施中。
- ・ 実車講習による的確な是正指導と講習時の事故防止を図る。

イ 取消処分者講習、初心運転者講習

公安委員会からの指定を受けた講習について、適正かつ効果的な講習を実施。

○ 令和6年度における取消処分者講習

(人)

	一 般	飲 酒	合 計
令和6年度	5	9	1 4
令和5年度	5	7	1 2
増 減	± 0	+ 2	+ 2

○ 令和6年度における初心運転者講習 (人)

	普 通	準中型	自動二輪	原 付	合 計
令和6年度	9	0	7	0	16
令和5年度	11	0	3	1	15
増 減	-2	±0	+4	-1	+1

ウ 企業安全運転講習、ペーパードライバー教習等

職業ドライバーに対する企業安全運転講習からペーパードライバーまで幅広く、目的に沿った効果的な講習実施。

○ 令和6年度における免許取得者教育講習 (人)

	1号課程	2号課程	4号課程	5号課程	7号課程	8号課程	合 計
令和6年度	37	0	0	0	0	583	620
令和5年度	72	0	0	0	0	555	627
増 減	-35	±0	±0	±0	±0	+28	-7

・ 1号課程～ペーパードライバー講習 ・ 2号課程～二輪車安全運転体験講習 ・ 4号課程～高齢者安全運転体験講習

・ 5号課程～高速・悪条件下等安全運転体験講習 ・ 7号課程～二人乗り走行体験講習 ・ 8号課程～企業・職域等安全運転講習

エ 障害者に対する教習

障害者に対する講習体制を整備し、適正かつ効果的な講習を実施。

6 会議

(1) 全国会議

3月12日(水)に都道府県交通安全協会専務理事等会議が東京都で開催され、専務理事が出席した。

(2) 当協会が主催する会議

ア 理事会

- 6月7日(金)に第41回理事会をトキハ会館5階「カトレアの間」において開催し、会長以下17名が出席した。
- 12月12日(木)に第42回理事会をトキハ会館5階「カトレアの間」において開催し、会長以下19名が出席した。
- 3月11日(火)に第43回理事会をトキハ会館5階「カトレアの間」において開催し、会長以下18名が出席した。

イ 評議員会

6月26日(水)に第21回評議員会をオアシスタワー3階「紅梅の間」において開催し、評議員8名が出席される中、会長以下13名で議事が行われた。

ウ 理事・評議員合同会議

6月26日(水)に理事・評議員合同会議をオアシスタワー3階「紅梅の間」において開催し、県生活環境部審議官、県警本部長、県警交通部長を来賓として迎え、会長以下27名が出席して、退任役員表彰並びに新たに選任された評議員・理事の紹介を行った。

エ 支部事務局長会議

11月28日(木)に支部事務局長会議を大分県運転免許センター4階学習ホールにおいて開催し、専務理事以下22名が出席し、インターネット環境整備に伴う事務の効率化や今後のこども自転車大会の開催等について審議した。

(3) 九州会議

ア 九州交通安全協会定例総会

4月18日(木)に福岡県で開催され、専務理事が出席した。

イ 九州各県交通安全協会専務理事・事務局長会議

10月10日(木)に沖縄県で開催され、専務理事が出席した。

(4) 県会議等

ア 大分県交通安全推進協議会委員会

6月14日（金）県庁14階大会議室において、大分県交通安全推進協議会委員会が開催され、当委員会副会長である杉原会長が出席した。
また、委員である大分県女性ドライバー協議会佐藤会長も出席した。

イ その他

- 大分県指定自動車教習所協会定期総会（5／14～専務理事・学校長出席）
- 交通安全教育推進連絡会議「第1回中央会議」（5／17～企画指導室長・主任出席）
- 大分県新長期総合計画策定県民会議（5／16、8／19～専務理事出席）
- 交通安全教育推進連絡会議「第1回中央会議」（5／17～企画指導室長・主任出席）
- 安全運転管理者社員総会（5／22～専務理事出席）
- 大分市自転車走行ネットワーク整備推進協議会（7／24～専務理事出席）
- 上記協議会が他の協議会と合併して設立した「大分市自転車活用推進協議会」（10／3～専務理事出席）
- 県境ブロック会議（11／1～企画指導室長・竹田支部長及び事務局長・豊後大野支部長及び事務局長）
- 日本交通管理技術協会ブロック会議（11／20～専務理事・企画指導室長・主任出席）
- 交通安全教育推進連絡会議「第2回中央会議」（本年2／7～企画指導室長・主任出席）

7 研修

(1) 当協会が主催する研修

職員や関係者に必要な知識や技能を習得させる機会を設けることにより、職員等個々の資質の向上を図るための各種研修会を実施した。

ア 新人職員研修会

令和6年4月16日（火）J:COM ホルトホール大分において開催し、新人職員（令和5年10月1日以降に採用）9名が参加。

接遇マナー研修の他、協会業務全般について学習し、運転免許センターに移動し、免許業務、運転免許センターの見学等を実施した。

イ 大分県女性ドライバー協議会研修会

夏の事故ゼロ運動期間中の7月16日（火）、J:COM ホルトホール大分において総会及び研修会を開催し、総会では、交通部長の挨拶、新会

長選出、研修会では、警察本部交通企画課担当者の講演及び各支部会長の活動内容の発表を行った。

ウ 大分県二輪車安全運転指導員研修会

2月16日（日）運転免許センターにおいて、二輪車安全運転指導員の資格を有する13名に対して、特別指導員9名と白バイ隊員1名による安全運転知識及び運転技能を指導した。

エ 支部職員研修会

3月8日（土）運転免許センターにおいて、各支部職員研修会を開催し、免許手続きの質疑、インターネット講座、3月24日開始のマイナ免許証の手続き手順の講習等を行った。

(2) 研修会等への派遣

職員や関係者に必要な知識や技能を習得させることにより資質の向上を図るため、専門機関や関係機関が開催する研修会等に派遣した。

ア 道路使用適正化業務担当責任者研修会（5／17～調査員出席）

イ 地域交通安全活動推進委員全国研修会（6／21～佐伯地区地域交通安全活動推進委員協議会会長・企画指導室長出席）

ウ 交通事故相談研修会（11／21、22～企画指導室長）

エ 交通安全指導者養成講座（12／9、11～宇佐支部事務局長出席）

オ 安全運転センター中央研修所における研修

業務に必要な資格取得あるいは資質向上のため、県自動車学校職員を自動車安全運転センターが主催する研修会に派遣した。

○ 令和6年度における中央研修所受講状況

	回数	受講人員	備考
取消処分者講習指導員課程	1	1	7日間
高齢者講習指導員課程（四輪車・二輪車）	1	1	2日間

オ その他

○ 令和6年度における県自動車学校指導員・検定員の講習受講状況

	回 数	受講人員
副管理者講習	1	4
技能検定員講習	3	20
教習指導員講習	1	2
合 計	5	26